

2006. 4. 6

委員 浅見佳世

## 武庫川溪谷の自然環境

～植生の視点から～

### ■「兵庫県の貴重な自然～兵庫県版レッドデータブック～」(2003)に見る武庫川溪谷の位置づけ

植物群落：Aランク 岩上植物群落

地形：Bランク 先行河川，貫入蛇行

地質：Cランク 岩石（玉瀬結晶質凝灰岩，長尾山流紋岩溶岩・河食）

自然景観：Bランク 溪谷（典型的なV字谷溪谷，自然公園，ハイキングコース）

Aランク：規模的、質的にすぐれており貴重性の程度が最も高く、全国的価値に相当するもの。

Bランク：Aランクに準ずるもので、地方的価値、都道府県の価値に相当するもの。

Cランク：Bランクに準ずるもので、市町村の価値に相当するもの。

### ■新規ダムサーチャージ域内で確認された特定植物の一覧

主な生育環境	種名 <sup>1)</sup>	兵庫県版RDB <sup>2)</sup>	近畿版RDB <sup>3)</sup>	環境省RDB <sup>4)</sup>	湛水域内での確認状況 <sup>5)</sup>
岩場	植物 1	A	A	絶滅危惧I I 類	+
	植物 2	A	B		+
	植物 3	B	B	絶滅危惧I B 類	+
	植物 4	C	C		+
	植物 5	C	準	準絶滅危惧	+++
	植物 6	C			++
	植物 7		B		+
	植物 8		準	絶滅危惧I I 類	+
	植物 9		準	絶滅危惧I I 類	+
森林	植物 1	A	準	絶滅危惧I B 類	+
	植物 2	A			+
	植物 3	B	準		+
	植物 4	B			+
	植物 5	B			++
	植物 6	C	C	絶滅危惧I I 類	+
	植物 7	C		絶滅危惧I I 類	+
	植物 8	C			++
	植物 9	C			+
	植物 10	C			+
	植物 11	C			+
	植物 12		C		+
水辺	植物 1	A	C		+++
	植物 2	A			+++
	植物 3	C	準	準絶滅危惧	+
	植物 4	C			++
	植物 5	B	A	絶滅危惧I I 類	+
	植物 6		準		++
路傍	植物 1	C			+

1) 種名：特定種保護のため種名は省略

2) 「兵庫県の貴重な自然～兵庫県版レッドデータブック～」(兵庫県編，2003)

Aランク：兵庫県内において絶滅の危機に瀕している種など、緊急の保全対策、厳重な保全対策の必要な種

Bランク：兵庫県内において絶滅の危険が増大している種など、極力生息環境、自生地の保全が必要な種

Cランク：兵庫県内において存続基盤が脆弱な種

3) 「改訂・近畿地方の保護上重要な植物 -レッドデータブック近畿2001-」

(レッドデータブック近畿研究会編著, 2001)

A : 絶滅危惧種A (近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種類)

B : 絶滅危惧種B (近い将来における絶滅の危険性が高い種類)

C : 絶滅危惧種C (絶滅の危険性が高くなりつつある種類)

準 : 準絶滅危惧種 (生育条件の変化によっては、「絶滅危惧種」に移行する要素をもつ種類)

4) 「改訂・絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブック- 植物I (維管束植物)」(環境省編, 2000)

絶滅危惧IA類 : ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧IB類 : IA類ほどではないが、ごく近い将来における絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧II類 : 絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 : 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性がある種

5) 確認状況 : 文献に掲載されている確認個体数で評価。重複があるため、あくまで目安。

+ : 確認された個体数がおよそ一桁

++ : 確認された個体数がおよそ二桁

+++ : 確認された個体数がおよそ三桁

※貴重種の確認情報は、兵庫県が武庫川を対象にとりまとめた既往報告書に基づく。

特定種の指定状況は、2)、3)、4)の文献をもとに浅見が整理した。